

立命館アジア太平洋大学【Ritsumeikan Asia Pacific University (APU)】(学部入学定員:1,200人)

## 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

- ① 相互理解の立場で様々な国・地域の人々と協力できる国際感覚と国際的視野を身につけた日本人の養成
- ② 日本と諸外国の間の友好信頼関係の構築と各国・地域の将来の社会・経済の発展に寄与する人材の養成

## 【構想の概要】

入学～卒業後のキャリア形成まで全ての段階における教育強化、および国際水準の教育手法を大胆に導入する。特に、全ての学生を対象とした初年次教育の強化と国際水準のFDを通じた授業の充実を通じて学修習慣を確立させ、キャリアと連動した動機付けを強化することで、学生の能動的な英語学習、海外留学を促進する。また、学生の学習成果と大学全体の教育効果の評価・測定の一環として、これらの成果を他大学と広く共有し、わが国全体のグローバル人材育成に貢献する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

アクティブラーニングや課題解決型・能動的学修授業の強化・促進、学修支援を通じて、学生の能動的学修を強化する。そうした学生の学習成果(Outcome Assessment)の測定を、Value Rubricsを用いて行う。また、大学の教育課程や各種教育プログラムの検証のため、IR(Institutional Research)の導入・強化を行う。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

上記の学習成果や教育課程・教育プログラムの検証結果を、大学ポートフォリオなどの基本的情報とともに日英二言語で積極的に学外へ発信し、ステークホルダーや他大学と共有する。

### ○ 事務体制のグローバル化

事務部門全体の英語対応力強化とともに、海外大学・学会における研修等を通じ、国際大学を支える高度専門職のロールモデルづくりを進める。

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成

### ○ 入学からキャリアまで一貫したグローバル人材育成の取り組み

全ての学生を対象に、適切な動機付け強化を主軸とした学生の能動的取り組みによる、4年間一貫のグローバル人材育成に取り組む。

#### ▷ 入学

グローバル志向に適した入学者選抜、入学前からの学修・留学・キャリアへの動機付け

#### ▷ 教育・環境

入学後の大学への学修への接続支援強化、学習習慣の確立や能動的な授業への参加のためのピア・サポート等の強化・授業手法の高度化(FD)・各種アクティブラーニングの充実、英語自主学習環境や円滑な海外留学の整備促進

#### ▷ キャリア形成

企業や海外卒業生と連携したキャリア形成支援とグローバルキャリアの可視化



〈80カ国以上から構成される学生同士が互いの言語を教え合う「語学自主学習センター・SALC」〉

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

よりグローバル志向が強く、英語を重視したAO選抜入試を拡充する。また、これまで培ってきた海外からの直接入学のアドミッションネットワークを活用し、海外在住で日本へ帰国する予定の帰国生徒への情報提供・ネットワーク開拓を強化する。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

教育成果を重視した正課英語授業の改善、英語による授業履修(20単位以上必修)への接続・支援を強化する。正課外では、海外大学と連携したWeb英語ライティング支援、自主学習環境の強化などを進める。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

従来どおり、原則全ての教員任用を国際公募とし、国際水準の教員任用水準を追求するとともに、海外大学との連携によるFDプログラムの実施、新任教員の研修強化・環境整備を進め、国際水準の教育力向上を進める。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

クォーター制度による留学(留学後の復学時期)の柔軟性のさらなる活用、父母の理解促進強化など、環境整備を進めるとともに、学習成果の測定やIRの分析をもとに、学生のキャリア意識や学修目的意識の醸成による留学への動機付け強化を図る。また、協定校の学部構成、専門分野、派遣・受け入れ状況などの把握・分析により、学生にニーズに対応した多様で適切な留学先の拡充・改善策を実施する。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

留学中の事故・災害等への危機対応の強化など留学支援体制の整備を進めるとともに、留学中のコミュニティ形成、留学前から帰国後にかけての継続的なキャリア支援、留学先大学との連携など、留学生ニーズに対応したきめ細かい支援策を実施する。

**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

APUの人材像を踏まえた習得すべき能力

＜知識分野＞

<u>(両学部共通)</u>	
・ アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等に関する総合的な理解	
<u>アジア太平洋学部 (APS)</u>	<u>国際経営学部 (APM)</u>
・ 国際社会、環境と開発、観光等に関する基礎的および専門的知識	・ ビジネスやマネジメント等に関する基礎的および専門的知識
・ アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の理解	・ 企業経営における国際的多様性の理解

＜スキル分野＞

<u>アジア太平洋学部 (APS)</u>	<u>国際経営学部 (APM)</u>
・ 言語能力、コミュニケーション能力、問題解決能力	・ 経営戦略立案・経営管理能力および異文化コミュニケーション能力

＜グローバル人材の能力測定指標 ～Value Rubric～＞

- ▷ 異文化間の知識と能力 Intercultural Knowledge & Competence  
文化的自己認識、世界観の枠組みに対する知識、他者への共感、言語・非言語コミュニケーション、好奇心、文化的相違に対するオープンさ
- ▷ 批判的思考力 Critical Thinking  
問題の的確な表現力、証左力、文脈解読力、自己の立場を確定する力、理論的に結論を導く力
- ▷ 学習の統合 Integrative Learning  
経験と理論の統合、学際的な視点の獲得、学びの調整・応用能力、学びの成果の表現力、振り返りと自己アセスメント
- ▷ 問題解決力 Problem Solving  
問題の抽出、解決戦略の策定、解決策の提案、解決策の評価、解決策の実行、解決プロセスの評価
- ▷ チームワーク Teamwork  
グループの会議への貢献、メンバーの貢献の促進、会議外での個人的な貢献、チームの建設的な雰囲気醸成、メンバー間の衝突への対応

**本構想において実現する達成目標**

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語カスタンダードを満たす学生数				170人	200人	300人	423人	
うち海外留学未経験者数 (A)				120人	160人	200人	250人	
海外留学経験者数 (B)		188人	173人	170人	200人	235人	277人	
卒業[予定]者数 (C)		1,303人	1,548人	1,429人	1,495人	1,400人	1,408人	
比率 ((A+B)/C)				20.3%	24.1%	31.1%	37.4%	
アジア太平洋学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL500点		108人(77)	128人(102)	192人(128)	271人(160)	
	海外留学経験者数	118人	123人	108人	128人	150人	177人	
	3カ月未満	83人	90人	77人	91人	107人	129人	
		3カ月～1年	34人	32人	30人	35人	40人	45人
		1年超	1人	1人	1人	2人	3人	3人
	卒業[予定]者数		608人	808人	672人	722人	700人	700人
国際経営学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL500点		62人(43)	72人(58)	108人(72)	152人(90)	
	海外留学経験者数	70人	50人	62人	72人	85人	100人	
	3カ月未満	51人	37人	46人	51人	59人	63人	
		3カ月～1年	19人	13人	15人	20人	25人	35人
		1年超	0人	0人	1人	1人	1人	2人
	卒業[予定]者数		695人	740人	757人	773人	700人	708人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。